

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス ランプ		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	整理整頓している。当日のケアに合わせて、レイアウトを変更している。	活動スペースがやや狭いように思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	ほとんどが医療的ケア児のご利用者様に対し看護師がなかり充足している。	各職種の専門性を高め、より良いサービスの提供に繋げたい	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	ご利用者様の異変に気付けるよう、全体が見渡せるようなレイアウトにしている。	パートの方への情報伝達を分かり易くしたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	休息スペースと活動スペースは分けている。活動しやすいスペースを確保し、プレイマットは消毒しやすいものを利用している。	子どもの視線からの配慮を検討する。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	パーティションで仕切ったり、相談室を利用可能である。	相談室を利用する場合の段取りを決める必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎朝の打合せ、会議、及び都度情報共有している。パートのスタッフには共有ファイルを利用している。	改善点に対して、その後のフィードバックを実施する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	評価表をもとに、会議を開催し、改善策を検討、会議で共有している。	改善後の評価、また再検討をすることも大切である。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	会議や都度、また半年に一度の各自目標を設定する際に、希望や改善点を話す機会を設けている。	日常的に、積極的に発言できる機会を増やすとともに、会議や面談での会話を続けたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	第三者外部評価を行っていないが、スタッフ間で常に業務改善を行っている。	第三者外部評価を検討している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	月1回研修を行っている。入社時、定期研修の他、外部研修を情報提供し、推奨している。	外部研修情報の収集に努める。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページ上に掲載している。	内容を更新し、充実させる。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	5	0	スタッフから情報収集し、モニタリングの準備をしている。	きめ細やかな個性のある計画立案に努める。	
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	支援計画作成会議にはスタッフ参加で行い、多様な角度からの意見を求めている。	支援計画を日頃から意識して、積極的な発言が求められる。	
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	モニタリングと支援計画の共有は出来ている。	支援状況の話し合いなどが実施できるとより良いと思う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	その子の特性に応じたインフォーマルなアセスメントを行っている。	標準化されたツールとして、ご利用者に適したものがあるか模索したい。	
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	子どもの成長に合わせ、卒業や進級を見据えて、取り組んでいる。地域支援、地域連携にも徐々に取り組んでいる。	地域資源を知って、より地域支援、地域連携に繋げたい。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	活動プログラムの打合せを行い、季節行事、年齢に合わせた工夫をしている。	年齢別や個性を持って、工夫を行っていききたい。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	レクリエーションの内容を増やす、また確立させるよう努力している。静と動など、対称的なプログラムでメリハリをつけている。	楽しいアイデアや取り組みを模索したい。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別活動ではその子の特性を意識し、集団活動では、社会性、人間関係を意識した支援に繋がるようにしている。	児童に合わせたレクリエーション道具を考えている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼で日々確認して始めている。	機能訓練職員との連携を深めたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼で、ヒヤリハット含め、気になる点等、確認している。	良かった点も共有することも大切。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録はしっかりと取れるように、スタッフ間で連携している。	支援の検証、改善に繋げたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的なモニタリングで、申し送り時だけでは聞けない詳細を伺っている。	成長や状況に合わせた計画をより具体的にしていきたい。
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	0	「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、「地域支援・地域連携」を意識するように心掛けている。	支援会議等でも、改めて理解を深め、日々の支援に繋げたい。
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	クローズドクエスションで質問し、その子供なりの反応を見つけ、スタッフ間で情報共有している。	スイッチ等、ツールを使う等の工夫を行いたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	基本的には参加しているが、スケジュール等で参加できないケースがある。	職種によって、違った視点での発言ができるため、複数で参加できるようにしたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	一部の関係機関との連携は取れている。	地域の保健、保育との連携は未だ出来ていないので、積極的にアプローチする必要がある。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	訪問し、見学した際に、いろいろ助言を得ることがある。	少ない回数なので、増やして、継続的な関係構築が必要がある。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		0	他の子どもとの活動の機会は未だないが、ポッチャ大会を検討中である。	交流の機会を検討中。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	申し送り時だけでなく、必要な場合は電話する等、相談する機会を持っている。	保護者様からも気軽に相談いただける関係構築が必要である。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	定期的なペアレントトレーニングを開催して、懇親の機会にしている。	参観できる週を作ることを検討中である。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	保育園と併用される方がいらっしゃる。	保育園との連携はそご利用日のみであるため、日頃から連携を取りたい。
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	移行時の支援会議に参加し、引き続き利用するデイとして、情報共有している。	未就学のお子様が増えているので、強化していきたい。
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校との情報共有は、学校からのメールやホームページの記載等で、スムーズに行えている。	学校との連携を強化したい。	
38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	5	小さいお子様のご利用が少なかったため、連携の機会が無かった。	現在増えている児童発達支援のお子様や新1年生の受入れの際は連携を重視したい。	

	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	卒業の近い方には進路を伺い、相談支援員の方と連携し、情報提供の機会を作っている。	今年も2名の卒業生がいるため、しっかりと連携していきたい。
	40	【放デイのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	出来る範囲で参加している。	送迎やご利用の時間と重なることが多いため、協議会へのご理解を促したい。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	新規ご利用時に、書面を提示の上、説明している。	新規ご利用時には情報が多いため、ご理解に繋げる工夫が必要である。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	モニタリングと送迎時に、ご意向を伺い、支援計画に反映するように努めている。	お伺いする際の聞き方や話しの引き出し方に留意し、ご意向に沿えるように努めたい。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	変更や追加点を主にお伝えし、ご署名をいただいている。	具体的な内容にして、分かり易く、内容の良いものに質を上げていきたい。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎時やモニタリングにご様子を伺い、お困りごとに対して、提案等を行っている。	積極的に話しかけて、相談できる場の提供を行いたい。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	ペアレントトレーニング、懇親会を開催している。保護者様同士でもゆっくり話せるよう配慮している。	通常ご利用時の参観等を開催していきたい。
	46	子どもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	スタッフ間でも相談し、いい改善策や提案を行うよう尽力している。	言いやすい雰囲気づくり、意図をしっかりと汲み取るよう、傾聴を心掛けたい。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	おたよりを毎月発行し、Instagramやホームページを使い分けて、発信している。	個別にもLineを使って、ご様子を届けるように努めていきたい。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	書庫を施設し、メール送信時やファイル持ち出し自には、個人情報の一部を隠す等配慮している。	研修などで、再度徹底し、意識を高めたい。
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	子どもの特性を知り、各々返事の表出方法を探り、分かった場合は、情報共有している。	事業所間での情報共有を進めたい。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	地域のイベントに参加したり、福祉センターへのお散歩をして、地域との交流の機会としている。	弊所への招待はボランティアに限られているので、間口を広げていきたい。
非常時等の対応	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	こちらから積極的にお声掛けして、話しやすい機会を提供している。	他事業所やインフォーマルな社会資源等の情報を収集して、より質の高い助言に繋げたい。
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	おたよりでその月の研修や訓練の報告を行っている。	ご家族への周知がなかなか行き届いていないため、周知方法を模索したい。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	研修を行う月に合わせて訓練を行っている。	いろいろなケースが想定されるため、違うシミュレーションでの訓練が必要である。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	用紙を用意していて、新規ご利用時には提出いただいている。お薬手帳も提示いただき、変更があった場合も確認を行っている。	お薬の調整が多いため、いつものお薬を把握し、違う場合に気づけるようにしたい。
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	食事の提供は行っていない。	持参いただくことで、リスク軽減としている。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	日頃から気になる点は改善するように、スタッフに周知している。	継続的にチェックする必要がある。
	57	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	ご利用開始時に説明を行っている。	定期的に情報発信していきたい。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	記載時や会議で周知し、対策を含め、情報共有している。	ヒヤリハットを積極的に活用したい。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	入社時及び定期研修を行っている。外部の研修も推奨し、受講している。	通報義務等、しっかりと虐待に関する知識を深めたい。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	4	身体拘束を行う機会はないため、研修で基本知識の確認を行っている。	どういったことが虐待になるのか等、知識を深めたい。